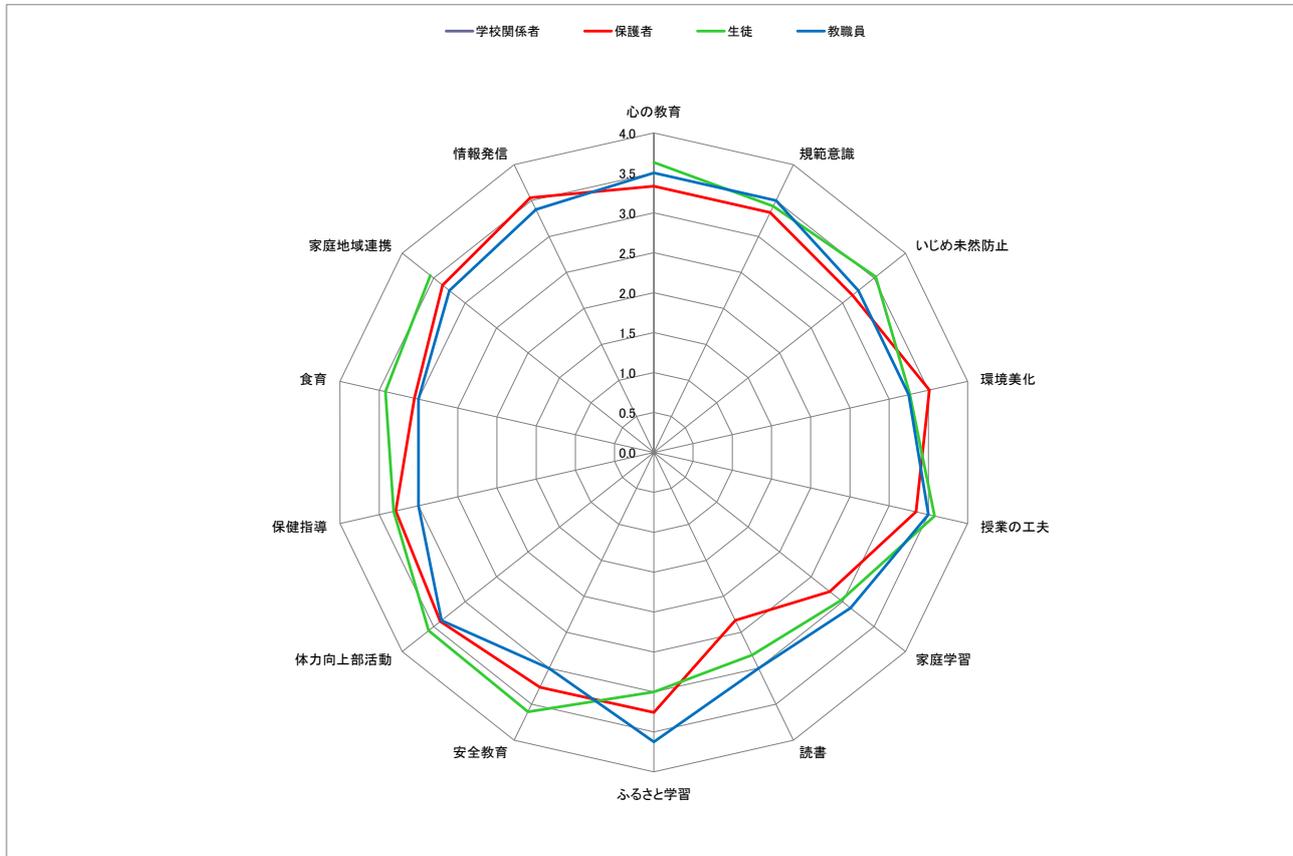


令和4年度 上期 学校評価アンケート項目一覧（栖本中学校）

	こころ				まなび				からだ				地域		総合
	心の教育	規範意識	いじめ未然防止等	環境美化	授業の工夫	家庭学習	読書	ふるさと学習	安全教育	部体活動向上	保健指導	食育	家庭地域連携	情報発信	
保護者	3.3	3.3	3.2	3.5	3.3	2.8	2.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.1	3.4	3.5	3.2
生徒	3.6	3.4	3.5	3.3	3.6	3.0	2.8	3.0	3.6	3.6	3.3	3.4	3.6	3.4	3.4
教職員	3.5	3.5	3.3	3.3	3.5	3.1	3.0	3.6	3.0	3.4	3.0	3.0	3.3	3.4	3.3



○考察及び学校評価アンケートを受けた今後の取組

<p>・総括的に見ると、多くの項目で、保護者・生徒・教職員の評価は3以上である。特に、こころの領域の4項目については、3者すべて3以上の評価である。また、総合的に見ても、保護者3.2、生徒3.4、教職員3.3であり、概ね良好の状況といえる。</p>
<p>・1つめの課題として、家庭学習の充実が挙げられる。生徒の取組に対しての意識は3p以上あり高い傾向にあるが、保護者の評価は他の項目より低い状況にあり、過年度から継続して同様な傾向にある。保護者が、生徒の家庭学習の取組状況をどの程度把握し評価している学級懇談会等を活用して情報交換を図っていく。また、本年度の生徒会による家庭学習に関する月目標は2月を予定している。2月に重点化を図った取組を行っていくが、日々の学習活動も充実させていく。特に11月4週目には期末テストを予定しているので主体的な学びに繋がるよう家庭学習も充実させていく。</p>
<p>・2つめの課題として、3者共通して読書のポイントの低さが挙げられる。しかし、年間貸し出し数1000冊への取組を行い、10月次で約800冊をクリアしている。また、読書に親しむ機会の提供についても、図書室読書の日と読み聞かせの会を設定し本に親しむ機会を確保している。近年継続して読書活動の評価が低い状況であるが、読書活動への取組は確実に進んでいる。しかし、本年度はコロナ禍の中でも部活動・体育的活動等が通常化してきたこともあり、9～10月の行事が錯綜してきた。このこともあり、休み時間等の空き時間に図書室へ足を運ぶ機会が少なくなってしまうようである。本年度は、弘済会からの助成金もあり、新刊・新書を多く購入してあるので、図書室に足を運べるような取組を工夫していく。</p>
<p>～主な保護者自由記述～</p> <p>○学級通信などで学校生活の様子を伝えて下さるので、子供たちが学級でどういふふうに住んでいるのか知れてよかったです。 *本年度は、学校CMS（ホームページ）の学校生活の更新もあり楽しんで見させていただいております。</p> <p>○小規模候ならでの、生徒一人一人に目を向けた関わりをしていただいていると思います。</p> <p>○子どものことを凄くよく見ていただいて栖本中はいい学校だと思います。</p>
<p>～主な生徒自由記述～</p> <p>○先生方がいつも挨拶を大きな事で返して下さっているところが心に残っています。</p> <p>●環境美化で、棚が整理整頓されていたので、整理整頓をするとい。</p> <p>●家庭学習ができていなかったのこれからおします。</p> <p>●読書は大切だと思うが、なかなか本を手にとろうと思えないから朝自主など本を読む機会を大切にしていきたいと思います。</p> <p>○河内川のことや栖本太鼓など地域の人たちに話を聞いたり、見学に行ったりして栖本のことをたくさん知れてよかったです。</p> <p>●給食のマナーは守れているけど好き嫌いが小さい頃からあって、今もなおっていないから頑張りたい。</p>